

5/25 珠洲市高屋町

能登半島地震

被災地の実情と
復旧・復興への課題

北國新聞社 編集委員
坂内良明



がんばろう能登



2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

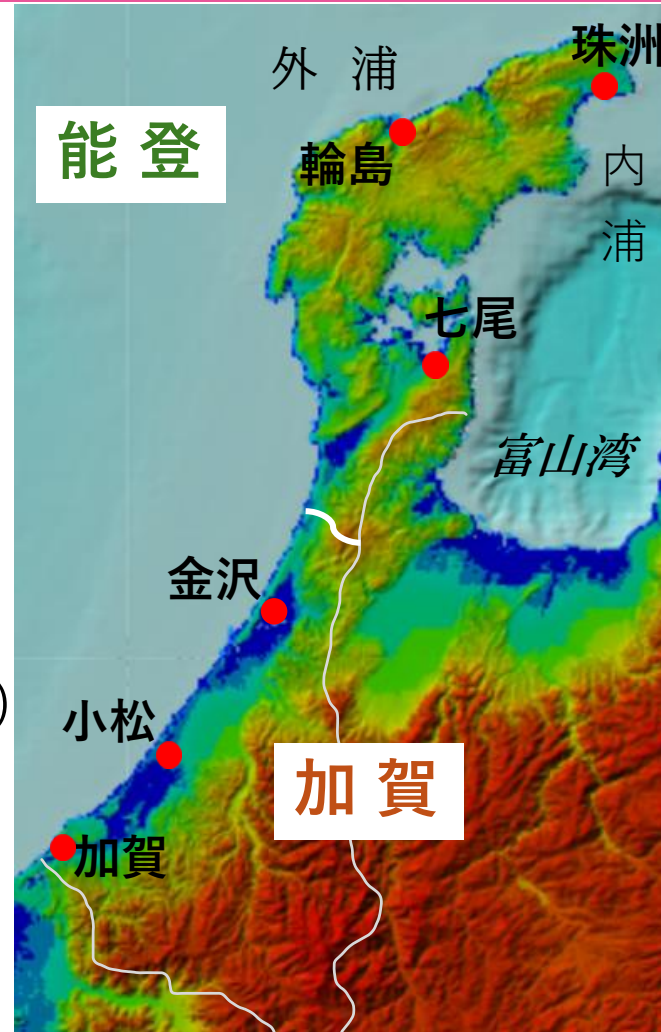
能登について

●地理：

石川県は南北で大きく
「加賀」「能登」に分かれる
能登は平地少なく、山がち
高山はなく、
最高峰は宝達山(637m)

●地域区分：

外浦（大陸側）と**内浦**（富山湾側）
口能登、中能登、奥能登



奥能登

輪島市
珠洲市
能登町
穴水町

中能登

七尾市
中能登町
志賀町

口能登

羽咋市
宝達志水町



がんばろう能登

2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

奥能登について

●人口：

約**5万5千人**（2023年）

= 石川県の**5%**

※2050年予測： 約**2万6千人**

※高齢化率： **48.7%**

●面積：

約1,130km²

= 石川県の**27%**

●距離：

金沢～輪島 110km（約**2時間**）

金沢～珠洲 140km（約**2時間半**）

※金沢～東京・北陸新幹線で…

最速**2時間27分**！



2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

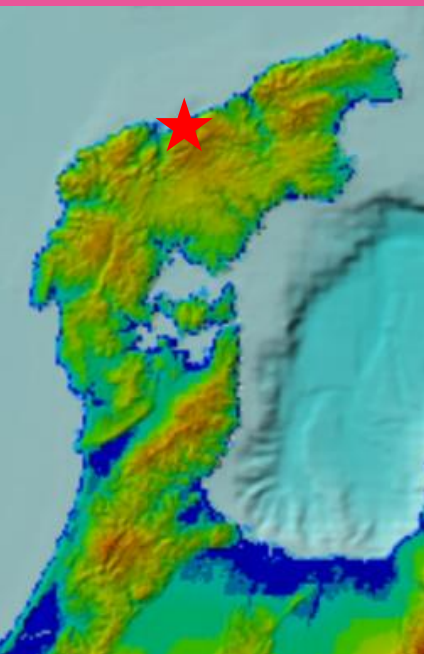
本日のお話

1. 被災地と復興の現状
2. 北國新聞の震災報道
3. 被災地で聞こえた声
4. 集約化論に向き合う



輪島朝市

1.被災地と復興の現状



1月1日 17:23

覚知

1月2日 7:30

鎮圧

1月6日 17:30

鎮火

焼失約5万㎡

約300棟

10人死亡

1月2日正午、
ドローンで撮影▶



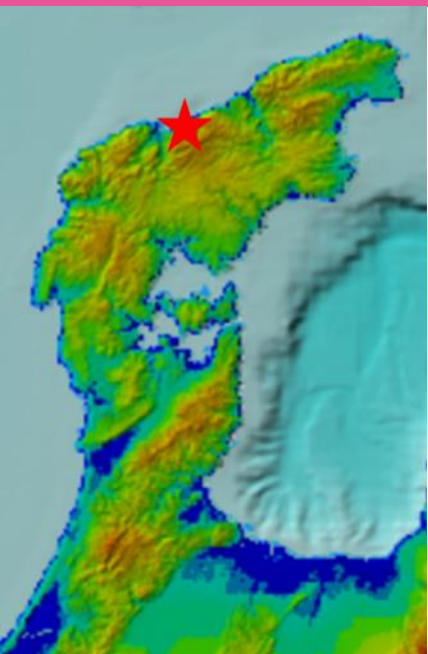
がんばろう能登

2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

輪島朝市

1.被災地と復興の現状



3月23日
第1回「出張輪島朝市」
金沢市金石で開催
その後、石川県内外で
開催

6月5日 公費解体始まる

6月18日、
ドローンで撮影▶



がんばろう能登

2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

輪島朝市

1.被災地と復興の現状

1月2日



6月18日

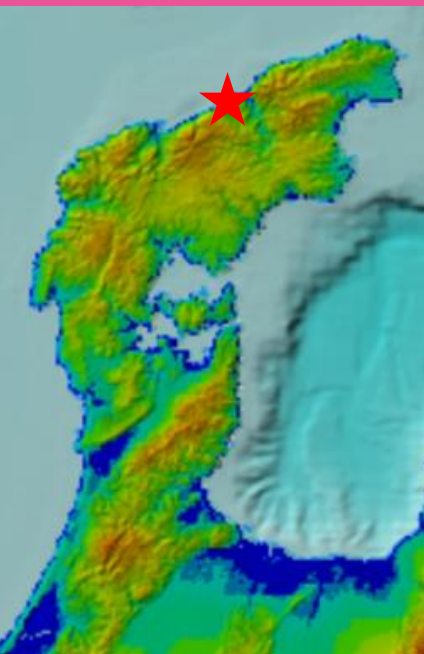


がんばろう能登

2024/08/25
地域デザイン学会 地域金融フォーラム

輪島市渋田町

1.被災地と復興の現状



土砂崩れで国道249号が寸断



がんばろう能登

1月4日
現地を歩く

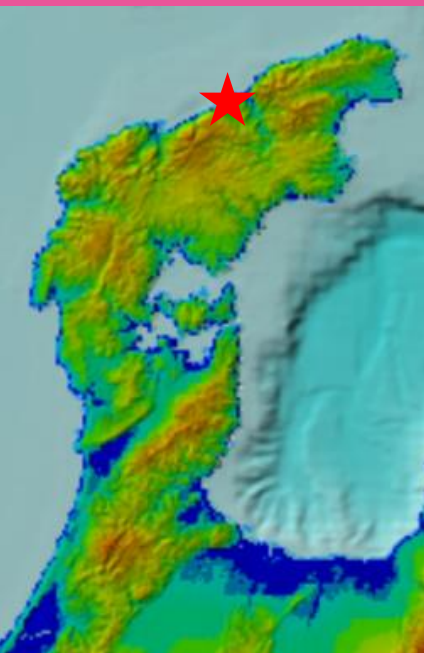


2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

輪島市渋田町

1.被災地と復興の現状



隆起して地上に
現れた岩場に、
迂回路を建設中

8月13日、
ドローンで撮影▶



がんばろう能登

2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

珠洲市宝立町鵜飼



地震に加え、**標高3mの
津波**で壊滅的な被害



がんばろう能登

2月7日

2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

珠洲市宝立町鵜飼

1.被災地と復興の現状



8月21日



がんばろう能登

2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

珠洲市宝立町鵜飼

1.被災地と復興の現状

2月7日



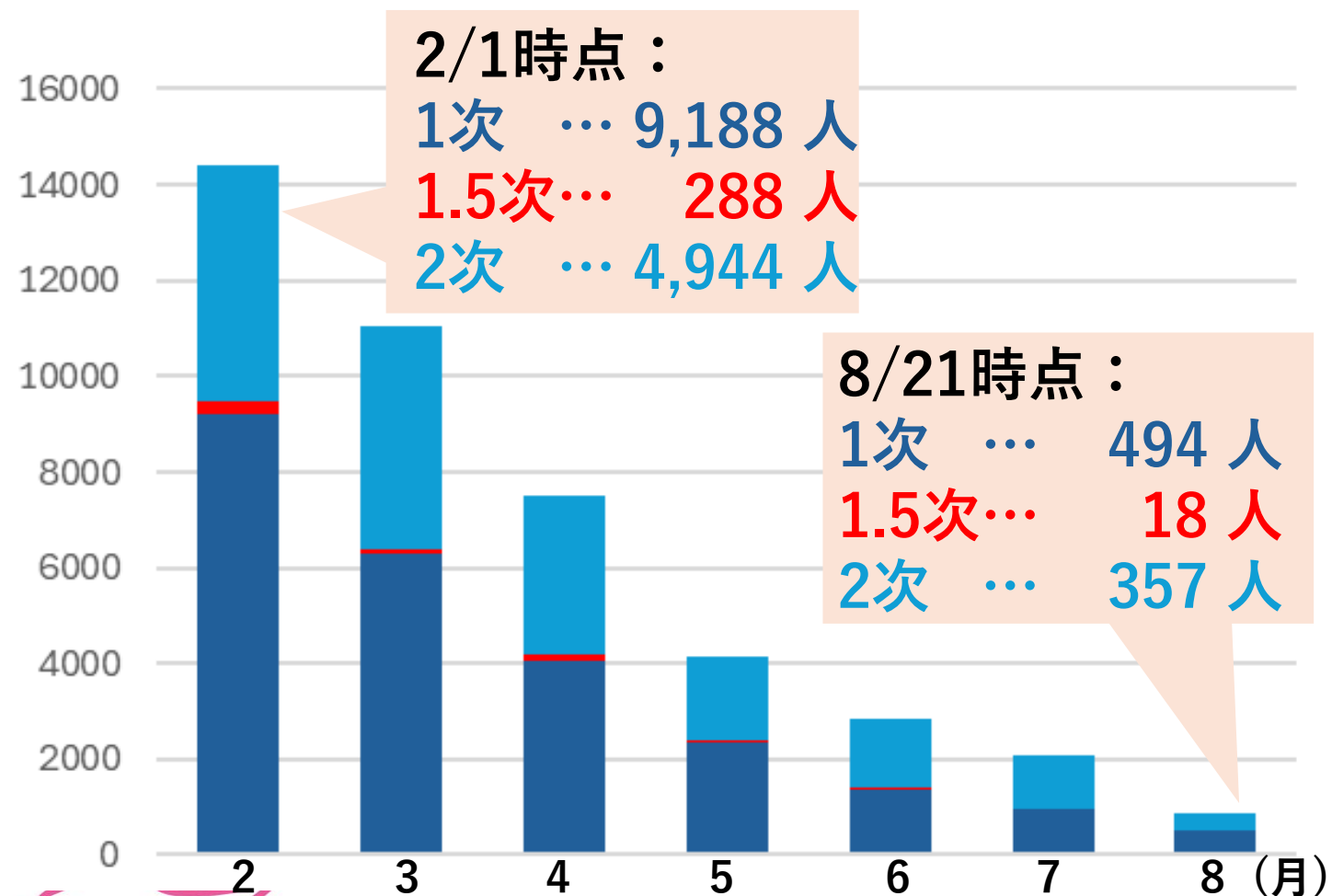
8月21日



がんばろう能登

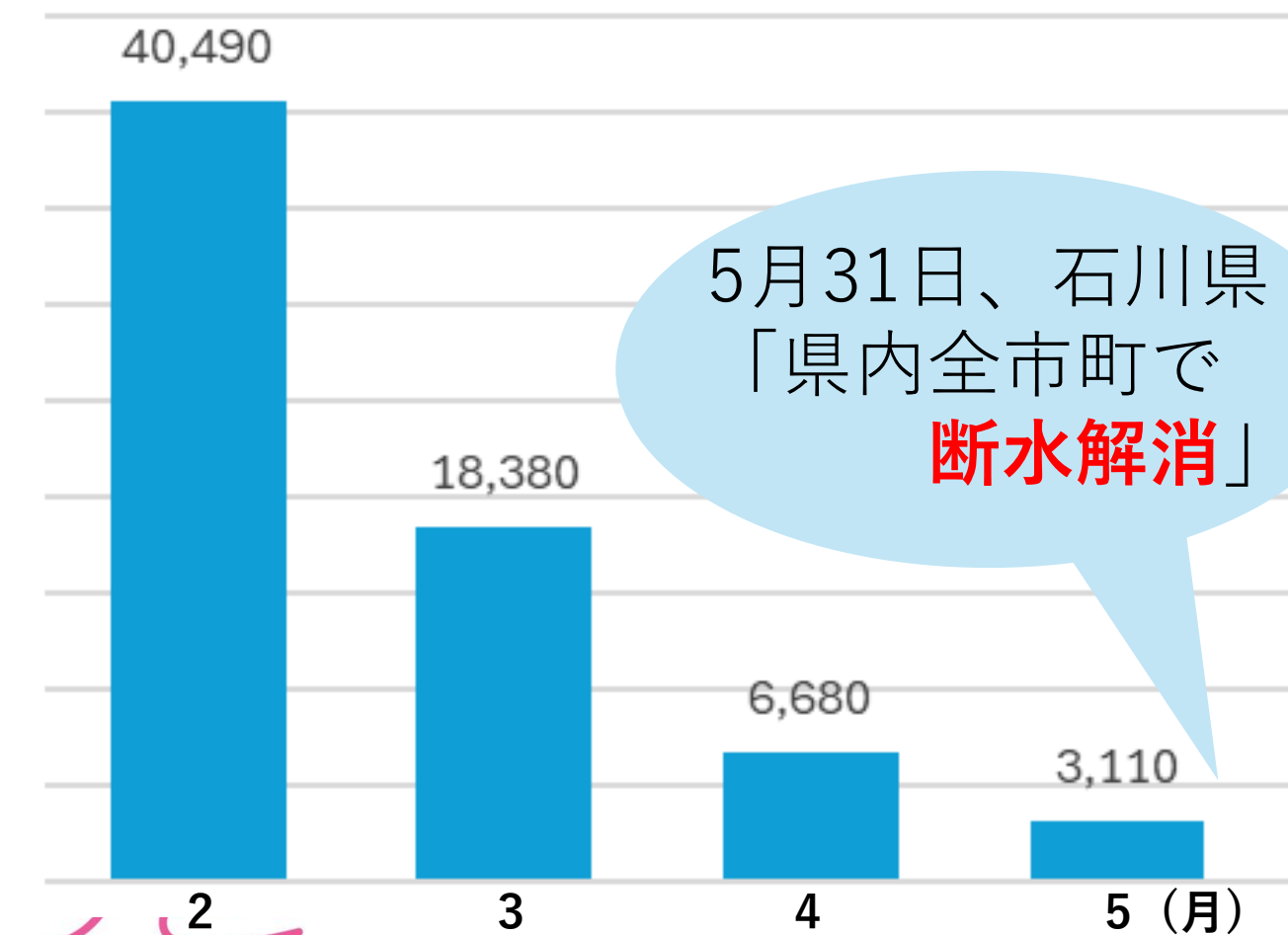
2024/08/25
地域デザイン学会 地域金融フォーラム

避難者数



2/8 金沢市のいしかわ総合スポーツセンターに設けられた**1.5次避難所**

断水戸数



ただし…

- ▶ 建物倒壊や土砂崩れ、
電気未復旧により
早期復旧が困難な地区を除く
輪島市312戸
珠洲市742戸
- ▶ **自宅敷地内配管**が壊れ、
水道が使えない/使いづらい
世帯は多数

道路 のと里山海道



金沢と能登を結ぶ
大動脈

2月15日
下り全区間仮復旧

7月17日
全区間通行可に

※迂回区間多
※本復旧は2,3年



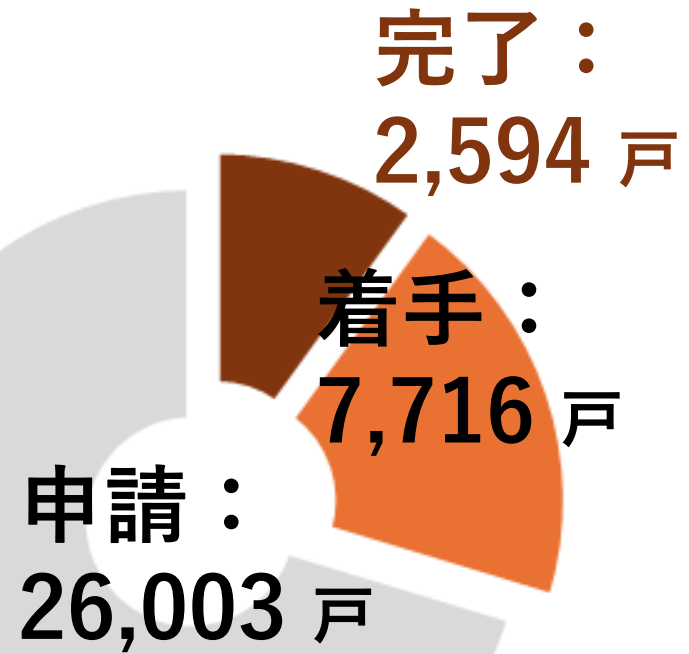
2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム



公費解体

1.被災地と復興の現状

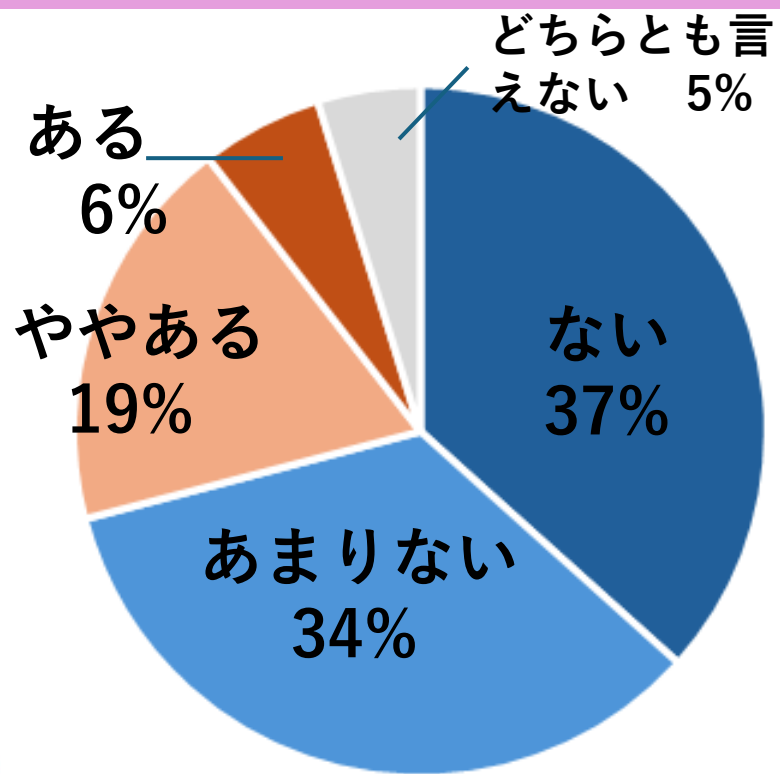


がんばろう能登

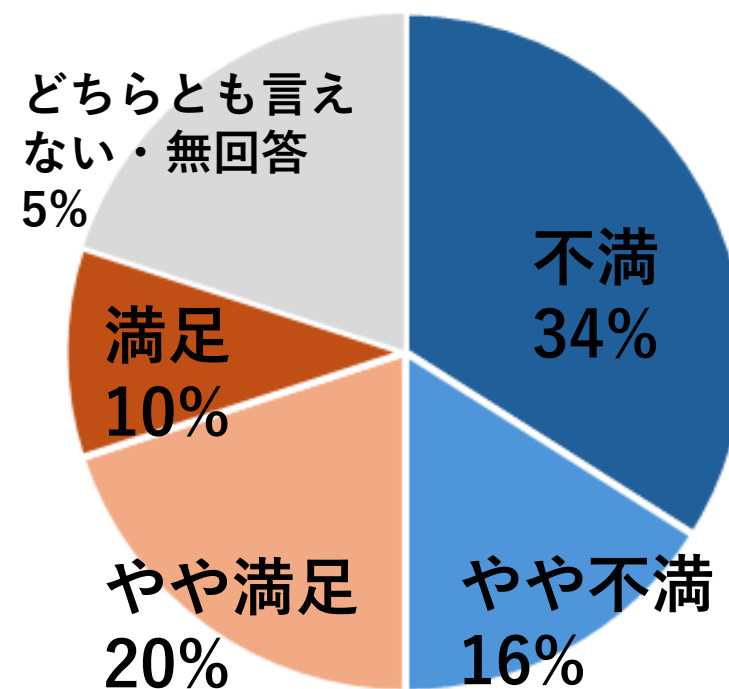
2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

地震から復旧・復興している
実感があるか



石川県や市町の対応、支援
についてどう思うか



1. 被災地と復興の現状
- 2. 北國新聞の震災報道**
3. 被災地で聞こえた声
4. 集約化論に向き合う



発災直後

●元日休み…

* 奥能登の記者 5 人中 3 人は
管外に
→ 急ぎ戻るも、当日中には
たどり着けず

* 1月1日16時30分ごろ、
珠洲支局の記者が**津波を撮影**



発災直後

- * 1月1日16時30分ごろ
金沢の本社を出発した
カメラマンが翌2日未明、
輪島市街地に到着。
朝市火災現場を撮影
- * 2日から応援記者常時10人
ほどを派遣して取材に当たる



がんばろう能登

2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

生ニュースと並行して、
地元密着型の企画を多数展開

● 1/3～ 「生活情報」

被災者の**生存・生活に必要な**
給水、給油、医療、避難所、
交通、ごみ…の情報を
網羅的に掲載

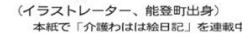


がんばろう能登

[illegible]

「被害、犠牲のニュースばかりではつらい…」との読者の声を受け、**ほっこり、温かな話題を届ける**ページに。

能登町出身の漫画家、**なとみみわさん**の漫画付き



私の住む街は断水、停電はあったものの、

ました。こんな大変な目にあっているのに、や 出・支援。よろしくよろしくお願い致します。



特別企画の展開

● 1/7～ 「1.1大震災 日本海側からのSOS」

震災対応、復旧復興の動きを
リアルタイムに検証し、
施策や将来像を提案

※ 1面で毎日継続中



がんばろう能登

北國新聞
2024年(令和6年) 8月24日(土) 第47210号

2024年(令和6年) 8月24日(土) 第47210号

北國新聞
2024年(令和6年) 8月24日(土) 第47210号

1.1大震災 237日目
日本海側からのSOS

第15章 医療の復興を考える

医療と介護 垣根高く

柳田の病院再建
書類も視察も別々

7月消費者物価
石川2〜3割価格上昇

コメ品薄 17%高騰

輪島大祭2日目 神輿、キリコ練る

朝市再生をどういけ

24年米 出荷前倒し

農水大臣 米は年々減る

武井雄英 米価高騰

米は年々減る

武井雄英 米価高騰

未来環境を
創造する

中越パッケージ株式会社

代表取締役社長 三浦 均

1.1大震災 237日目
日本海側からのSOS

第15章 医療の復興を考える

医療と介護 垣根高く

柳田の病院再建
書類も視察も別々

7月消費者物価
石川2〜3割価格上昇

コメ品薄 17%高騰

輪島大祭2日目 神輿、キリコ練る

朝市再生をどういけ

24年米 出荷前倒し
農水大臣 米は年々減る
武井雄英 米価高騰

未来環境を
創造する
中越パッケージ株式会社
代表取締役社長 三浦 均

特別企画の展開

● 2/3～ 「それでも能登に生きる」

被災しながらも、
生活となりわいを立て直し、
ふるさとで生き続けようと
する人々を取り上げる



がんばろう能登

それでも 能登に生きる

豪出身、能登で28年
「オーストラリア出身の料理人ベンジャミン・フラットさん(58)は、輪島塗や能登瓦が災害(み)として捨てられている現実を胸を痛める。能登は能登でなくなってしまう。流石な日本語には能登を愛する心がこもる。」

担ぎ、住民からは「ベネズエラ」に慕われる。伝統的な魚醤「いしり」、ひねずし、こんかいワシなど地元の発酵食を作り、「能登イタリアン」と名付けた独自の料理で客をつなげてきた。

能登町矢波
ベンジャミン・フラットさん(58)



能登ならではの文化を受け継ぎたいと意欲を示すフラットさん
＝能登町矢波

い、地震発生後さらに強くなった。民家で大切に受け継がれてきたであろう輪島塗が壊れ、後継者不足にさらされている能登瓦も廃棄処分を待つ。ベネズエラはそんな現状を黙って見られなかった。

ボランティアを募り、要になった輪島塗や瓦があれば譲り受け、希望者に渡す活動を始める予定。「大切な文化である輪島塗や能登瓦を捨てないでほしい。捨てるぐらいなら、大事

それでも 能登に生きる

地震で所々が崩れた廊下の壁に、往年の銀髪スターや有名人の白黒写真、サインが飾られている。珠洲市飯田町にある谷野旅館。セピア色の写真の中に、若かりし頃の女将谷野英子さん(65)の姿があった。

昔は一人で二舞い旅館は1956年の創業で、今では珠洲中心部の飯田町で最も古い宿泊施設である。ルーツは戦前、土木作業員が雑魚寝する安宿だったが、戦後は仕出しや宴会も行つ旅館となった。43年前、当時の能登町から珠洲へ嫁いだ。高度成長

珠洲市飯田町
谷野英子さん(65)



旅館の湯船で湯加減を確かめる谷野さん
＝珠洲市飯田町

町を直す人の宿に

期や能登観光ブーム、パブル景気の頃は忙しく、てんで二舞いだったという。時代は流れ、過疎が進み、コロナ禍も追い打ちとなって奥能登は静かになった。「すごいぐんぐんたけでる」と思いながら迎えた今年の元日、激しい揺れで宿と隣接の自宅が半壊した。ボランティアが続々

水は出ず、食事も出せない。本来なら客を受け入れられないが、宿泊を希望する人は増える。一方だった。最初は医療関係のボランテ

1. 被災地と復興の現状
2. 北國新聞の震災報道
- 3. 被災地で聞こえた声**
4. 集約化論に向き合う



孤立集落を取材して…

北國新聞か？ 来るんやったら、
新聞の一部でも持ってこいま～

⇒ 被災地で高まる
地元情報のニーズ

配達網「全壊」で、それに
応えられない歯がゆさ



1/13 輪島市門前町和田の
自主避難所で暖をとる住民たち



2度の大地震

17年前(の大地震)は、みんなまだ若かったから、すぐ復興へ立ち上がった。でも今回は厳しいかもしれん…

⇒ 地震頻発地帯・能登
「**石川は安全**」神話の崩壊

⇒ 止まらぬ高齢化・人口減



がんばろう能登

1/7 輪島市門前町道下。
2007年能登半島地震で最も大きな被害



2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

母親たちの悩み

週末、金沢へ買い物に行って
帰ってくると、あまりの違いに
子どもがショックを受けてる…

⇒ ほぼ「無傷」だった金沢

「石川と全国」だけでなく、
「**石川県内**」にも**温度差**あり



がんばろう能登

1/7 輪島市河井町。子どものための
イベントを企画する40代女性たち



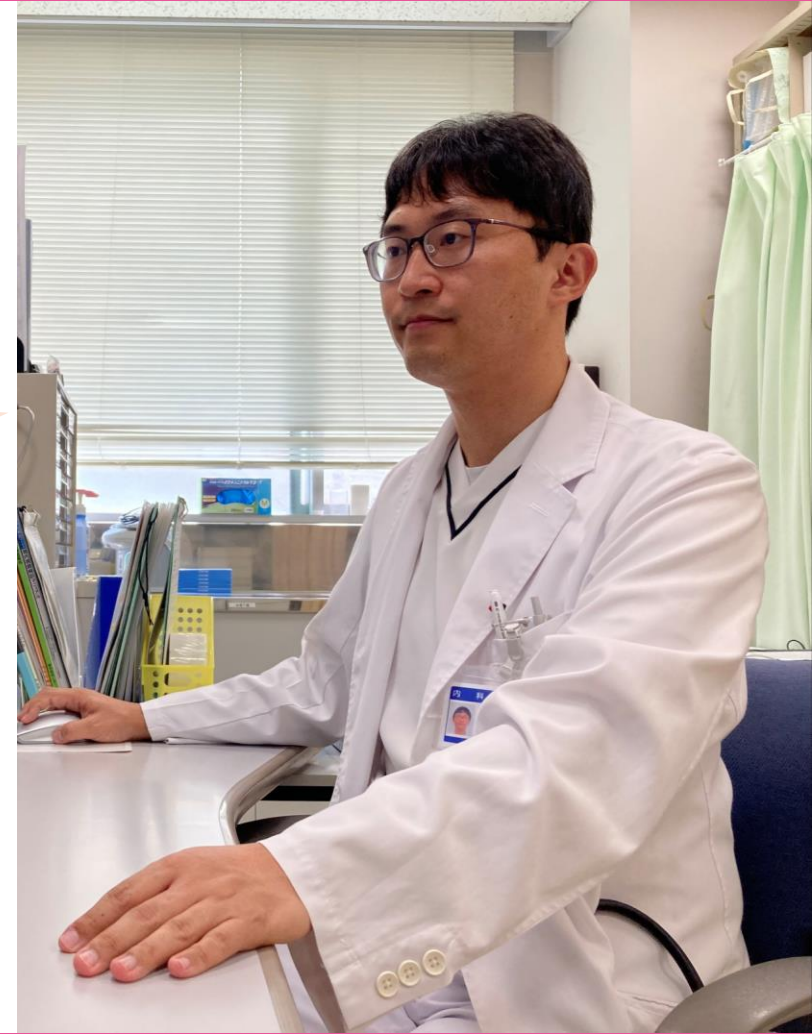
2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

地域医療の希望

被災した時も、数えきれないほどの温かさを感じて、**ますます珠洲が好きになった**。恩返しのため、これからも珠洲で医療をやっていく

珠洲市総合病院の内科医長、出島彰広さん(36)。白山市出身、自治医科大卒。珠洲に定住する意思を固めている



若者が動く

農業だけでなく、能登のいろんなことが、今のままの仕組みではやっていけない。住民同士、思いをぶつけ合って、これからのまちづくりを考えたい



輪島市町野町の農業、30代男性。
「町野復興実行委員会」を立ち上げ、
さまざまな企画を練る



がんばろう能登



2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

1. 被災地と復興の現状
2. 北國新聞の震災報道
3. 被災地で聞こえた声
4. **集約化論に向き合う**



「集約化論」について

地震の直後から、インターネットかいわいで、

「能登はどうせ過疎で、人口も減るのだから、
多大なコストを投じて元に戻るのは効率的で
ない。これを機に**集約化**、**コンパクトテー**
化を進めるべき」

といった論が盛んに出る

⇒ 地元紙として、その「危うさ」を指摘



がんばろう能登



6 月、珠洲市真浦町

2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

「住民が決めること」

4月、財政制度等審議会が「能登はコストを念頭に集約したまちづくりを」といった提言をした、と報道された

あれは論点整理のため事務方が作った資料に過ぎない。審議会では「まだ将来の議論は時期尚早」として、**能登については提言に盛り込まなかった**

そもそも日本のまちづくりに、強制的な移住を伴う集約化の枠組みなどはない。
住民の合意なしに、復興は進まない



増田寛也氏

財政制度等審議会・財政制度分科会長代理、日本郵政社長

「コスト減、小さい」

移住によって集住したとしても、（人は減らないので）属人的なコストは変わらない。属地的なコスト減は、実はそんなに大きくない

5年後の話か、20年後か。市町単位か、集落単位か。集約の話は、**時間的・空間的なスケールを明示**して行わないと、議論がかみ合わない



林直樹氏

金沢大学准教授。専門は農村計画。無人集落の踏査など



「何を、いまさら」

いわゆる過疎地の産業やなりわいは、半世紀前から続く人口減を経験している。その過程で、余計なものはとくに淘汰されてきた。

本当に大事なものの、必要なもののしか、能登には残っていないのだ

可住面積あたりの人口密度では、奥能登は中国とほぼ同じ。世界的に見れば、**奥能登は「過疎」ではなく「適密」**だ



がんばろう能登



藻谷浩介氏

日本総研主席研究員。「里山資本主義」「デフレの正体」

2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

「集落は、強し」

能登は、小さな集落が点在して成り立っている地域。今回の地震後、長期の孤立に耐えたように、集落はもともと**自立する力**を備えている。

この力をうまく伸ばすことで、日本の過疎地域のモデルになりうる。それを実験したい



小津誠一氏

「能登復興建築人会議」副会長。
珠洲で「現代集落」に携わる



「田舎あつての都会」

能登のような田舎、地方は一見、非効率に見えるけど、実は、**健全な田舎が残されていて、都市の生活が支えられている**のではないかな。

その田舎を切り捨てていって、都会だけが残ったとき、都会は成り立つのか？

自分の足を食べ尽くしてしまったタコが頭だけ残ったら、生きていけるのか？



谷内江昭宏氏

金沢大学副学長、医学部教授。
輪島市深見町出身



がんばろう能登

2024/08/25

地域デザイン学会 地域金融フォーラム

まとめ

- 能登の復興は緒に就いたばかり。
引き続き、ご支援とご関心を！
- 石川「唯一の地元紙」としてこれからも、
被災地に寄り添い、能登の人の声を拾い
続けていきます
- 安易な「集約論」にはご用心！



ご清聴、ありがとうございました。

